



大雪の夜、車を走らせる男と女。  
先が見えない一晩の道行きは、  
ふたりの関係そのものだった。

誰もがうらやむ夫、かわいい娘、“何も問題のない生活”を  
過ごしていた、はずだった塔子。

10年ぶりに、かつて愛した男・鞍田に再会する。

鞍田は、ずっと行き場のなかった塔子の気持ちを、  
少しずつ、少しずつほどこいていく…。

しかし、鞍田には“秘密”があった。

現在と過去が交錯しながら向かう先の、

誰も想像しなかった塔子の“決断”とは――。

**2.21 Fri 全国ロードショー!**  
WEBで座席指定ができる前売券【ムビチケカード】¥1,400(税込)を発売中!

# Red

夏帆

柄本 佑 間宮祥太郎

片岡礼子 酒向 芳 山本郁子 / 浅野和之 余 貴美子

妻夫木 聡

監督:三島有紀子

原作:島本理生「Red」(中公文庫) 脚本:池田千尋 三島有紀子 音楽:田中拓人

製作総指揮:佐藤直樹 製作:新井重人 三宅容介 安部順一 安井邦好 岡 知良 エグゼクティブプロデューサー:福家康孝 プロデューサー:荒川優美 赤城 聡 久保田 傑

撮影:木村信也 照明:尾下栄治 録音:浦田和治 美術:黒瀬みづ 装飾:石渡由美 編集:加藤ひとみ

衣裳:篠塚奈美 ヘアメイク:有勢涼子 スクリプター:原田侑子 音響効果:大塚智子 VFX-ライン編集:野間 実 助監督:佐野隆英 制作担当:松田喜一良

製作:日活 ホニーキャニオン 誠売新聞社 日本出版販売 中央公論新社 企画・製作幹事・配給:日活 制作プロダクション:オフィス・シロクス 企画協力:フラミンゴ

助成:文化庁文化芸術振興費補助金(映画創造活動支援事業) 独立行政法人日本芸術文化振興会

123分 / シネマスコアサイズ / 日本 ©2020「Red」製作委員会 redmovie.jp



直木賞作家による賛否両論の問題作が、新たな“恋愛映画”に。

世界に見捨てられたふたりの、たった一夜のドライブ。この夜の先は、絶望か希望か。

**2.21** FRI

愛することが、生きることだった。



人はいつも、自分の内側に潜んでいるものを目覚めさせてくれる、誰かを探し求めているのではないか——。



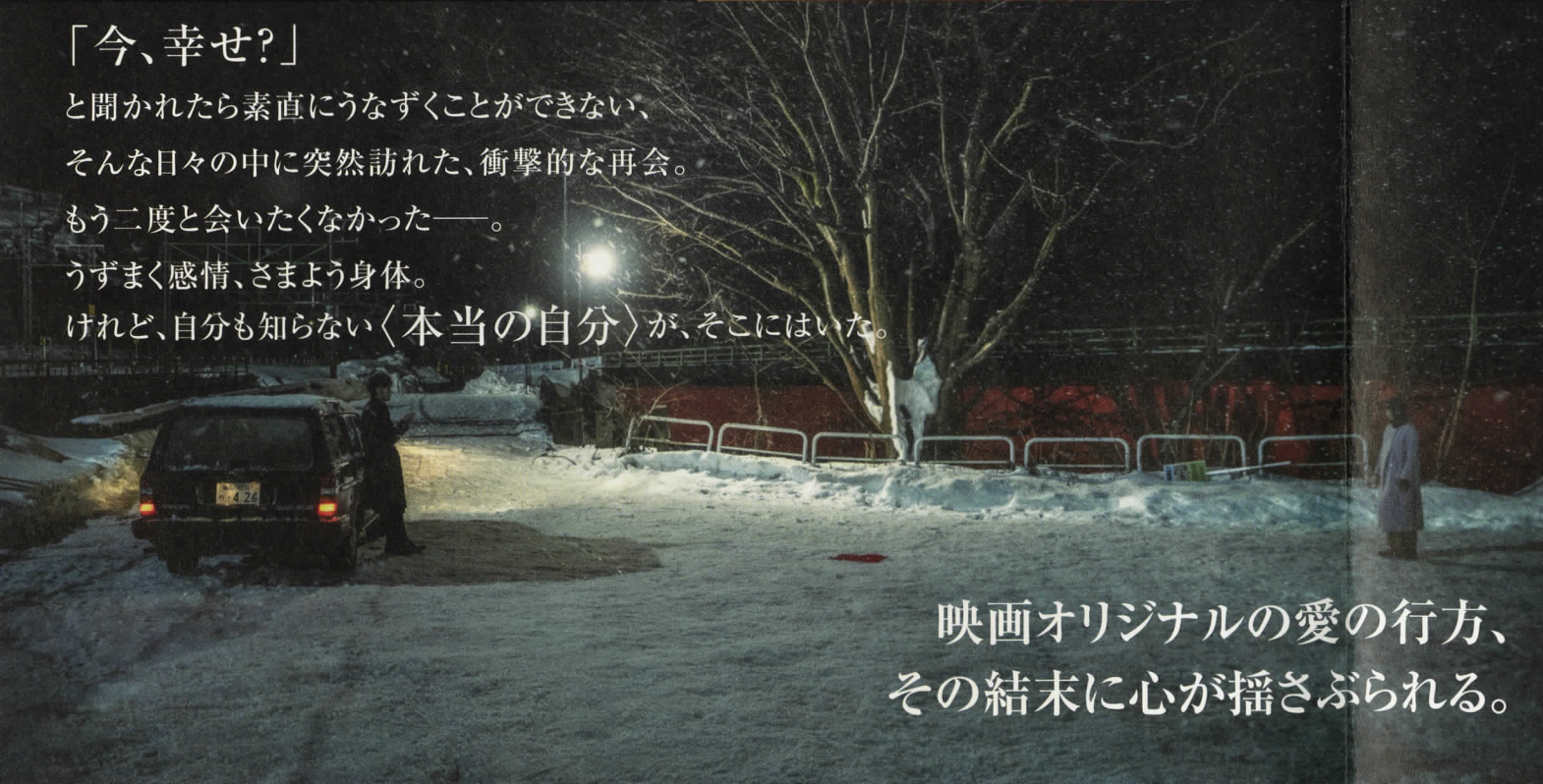
「今、幸せ？」

と聞かれたら素直にうなずくことができない、そんな日々の中に突然訪れた、衝撃的な再会。

もう二度と会いたくなかった——。

うずまく感情、さまよう身体。

けれど、自分も知らない〈本当の自分〉が、そこにはいた。



映画オリジナルの愛の行方、その結末に心が揺さぶられる。

共感を越え、あなたの“今”とシンクロしていく、大人のラブ・ストーリーの、その先へ——。

主人公の塔子役には、数々の作品で幅広い役柄を演じてきた女優・夏帆。本作では、かつて愛した男との再会で、心も身体も解放していき、自由に美しくなっていく女性を、繊細かつ大胆に演じ、更なる新境地を切り開く。かつて愛した男・鞍田役には、今の日本映画界において欠かせない存在の俳優・妻夫木聡。40歳目前の妻夫木は、愛いを帯びた色気を全身から放ち、圧倒的な芝居力で鮮烈な印象を残す。

塔子に好意を寄せる小鷹役を演じるのは、昨年、第73回毎日映画コンクール男優主演賞に輝いた、今最も旬な俳優のひとり、柄本佑。不思議な魅力と自由さを併せ持つ小鷹を軽やかに演じてみせる。また、塔子の夫・真を演じるのは、今年デビュー10周年を迎え、ますます勢いがとまらない、間宮祥太朗。無意識に塔子を傷つけてしまうが、どこか憎めない夫を演じ、また新しい一面を魅せる。

メガホンをとるのは、2017年『幼な子われらに生まれ』で家族の心の機微と心理を鋭く描き出し、第41回モントリオール世界映画祭コンペティション部門審査員特別大賞など、数々の賞を受賞した三島有紀子監督。本作では、“男と女”に焦点を定め、心と身体の繋がりを通して、一人の女性の生き方を見つめ、不器用な大人たちの恋愛感情を、肉迫した臨場感のある映像でつぶさに追いかけている。

情熱、衝動、愛、危険、希望、あなたにとっての「Red」とは？